

令和元年 10 月市議会臨時会
副市長認定議案説明

[説明者；樋口副市長]

認定第 2 号 平成 30 年度 長野市一般会計、各特別会計決算の概要につきまして、御説明申し上げます。

今回、提案申し上げました決算は、平成 30 年度一般会計のほか、11 の特別会計、6 の財産区特別会計の合わせて 18 会計であります。

お手元の「認定議案」の 8、9 ページを併せて御覧いただきたいと思います。

一番下の行、一般会計と各特別会計の収入済額の合計は 2,238 億 8,006 万 2,810 円、支出済額の合計は 2,175 億 4,995 万 9,425 円、実質収支額は 37 億 3,644 万 8,385 円となりました。

次に、一番上の行、一般会計の決算の概要につきまして申し上げます。

収入済額は 1,484 億 1,362 万 9,292 円、支出済額は 1,436 億 369 万 2,521 円、従いまして歳入歳出差引残額は 48 億 993 万 6,771 円となり、そのうち翌年度へ繰り越すべき財源となる 25 億 9,365 万 5,000 円を差し引きました実質収支額は、22 億 1,628 万 1,771 円でございます。

次に、特別会計の決算の概要につきまして申し上げます。

国民健康保険特別会計等の 11 の特別会計につきましては、下から 2 行目、特別会計 計を御覧ください。収入済額は 754 億 6,643 万 3,518 円、支出済額は 739 億

4,626万6,904円、従いまして歳入歳出差引残額は15億2,016万6,614円となり、実質収支額は、15億2,016万6,614円でございます。

各特別会計の決算額につきましては、決算規模の大きな三つの特別会計につきまして申し上げます。

特別会計の1番上の行、国民健康保険特別会計の収入済額は355億2,453万993円、支出済額は348億7,027万4,801円、実質収支額は6億5,425万6,192円でございます。

中ほどの、介護保険特別会計の収入済額は335億1,196万3,095円、支出済額は326億7,958万1,406円、実質収支額は8億3,238万1,689円でございます。

下から5行目の、後期高齢者医療特別会計の収入済額は50億3,941万7,156円、支出済額は50億2,811万8,625円、実質収支額は1,129万8,531円でございます。

続きまして、財産区特別会計の決算の概要について申し上げます。

338ページを御覧いただきたいと存じます。

松代財産区につきましては、歳入決算額は190万6,909円、歳出決算額は98万4,049円、実質収支額は92万2,860円でございます。

次に343ページを御覧ください。豊栄財産区につきましては、歳入決算額は24

万 4,033 円、歳出決算額は 2 万 69 円、実質収支額は 22 万 3,964 円でございます。

次に 347 ページを御覧ください。西寺尾本郷財産区につきましては、歳入決算額は 57 万 7,238 円、歳出決算額は 37 万 4,162 円、実質収支額は 20 万 3,076 円でございます。

次に 351 ページを御覧ください。今井財産区につきましては、歳入決算額は 73 万 7,094 円、歳出決算額は 61 万 5,272 円、実質収支額は 12 万 1,822 円でございます。

次に 356 ページを御覧ください。信級財産区につきましては、歳入決算額は 73 万 5,636 円、歳出決算額は 5 万 8,301 円、実質収支額は 67 万 7,335 円でございます。

次に 360 ページを御覧ください。日原財産区につきましては、歳入決算額は 21 万 4,071 円、歳出決算額は 3 万 9,101 円、実質収支額は 17 万 4,970 円でございます。

以上、平成 30 年度 長野市一般会計・特別会計並びに各財産区特別会計の決算の概要について御説明申し上げましたが、詳細につきましては、各会計の決算書のほか、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書等を御参照いただきたいと思います。

何とぞ十分御審議の上、御認定を賜りますようお願い申し上げます。